

# 開運ビーズトンボ ～いいことありそう～

貴方は、どの『勝ち虫』に想いを込めますか？

## 1 祈 幸せ

【オニヤンマ】



雄略天皇は、お腕を刺したアブを捕らえたトンボに「勝ち虫」の称号を与えました。戦国時代は武具にその姿が描かれ、現代でも鉛筆や学生服、農機具など、トンボやヤンマを社名にしたメーカーがあることはご存知の通り。オニヤンマは蜂も恐れぬ、日本一大きくて勇ましいトンボです。

## 2 祈 昇進

【ギンヤンマ】



雄略天皇は、お腕を刺したアブを捕らえたトンボに「勝ち虫」の称号を与えました。戦国時代は武具にその姿が描かれ、現代でも鉛筆や学生服、農機具など、トンボやヤンマを社名にしたメーカーがあることはご存知の通り。かつて、大きく美しいギンヤンマを手にした子どもはヒーローでした。

## 3 祈 健康(病気避け)

【カトリヤンマ】



そもそもお正月の羽根つきは、「蚊(か)」に刺されることで発症する、日本脳炎やデング熱などにかからないための「おまじない」です。そのモデルこそ、好んで蚊を捕食するカトリヤンマ。つまり、日本人は年頭に当たり、1年間の健康をトンボに託してきた、というわけです。

## 4 祈 勝利

【シオカラトンボ】



雄略天皇は、お腕を刺したアブを捕らえたトンボに「勝ち虫」の称号を与えました。戦国時代は武具にその姿が描かれ、現代でも鉛筆や学生服、農機具など、トンボやヤンマを社名にしたメーカーがあることはご存知の通り。シオカラトンボの好物は、同天皇のお腕を刺した大きなウシアブです。

## 5 祈 ひらめき

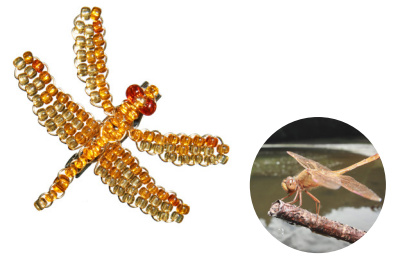
【ナニワトンボ】



成熟オスは全身水色ですが、実は秋の赤トンボの仲間。多くの成熟オスが赤くなるグループ内には黒色や褐色という種類もありますが、この程度なら「赤トンボ」の仲間と言ってもさほど違和感はないでしょう。水色の赤トンボ？は発想の転換に気づかせてくれます。常識から文化は育たないのです。

## 6 祈 金運

【オオキトンボ】



雌雄とも「ご利益」の塊のように、全身が黄金色をしています。ただ、水質など環境の変化に敏感で、今や全国的な絶滅危惧種。そんなトンボが生育するきれいな溜池の水で作られる農作物一番の「売り」は、これからの経済的競争力につながる「安全性の高さ」でしょう。



### 勝ち虫

かの昔、第21代 雄略天皇は、お腕を刺したアブを捕らえたトンボに「勝ち虫」という称号を与えたというエピソードがあります。戦国時代では、勝利への願いを込め、好んで武具や衣装などにトンボの姿が描かれました。そして現代でも、鉛筆や学生服、農機具などに、トンボやヤンマを社名にする企業がある事はご存じのとおりです。このように、トンボには希望やロマンがあり、いつの時代も人々の思いを巡らせてきた存在なのです。

全12種類

各500円(税込)

「ピンタイプ」または「ストラップ」をお選びください。

※この収益は、四万十市トンボ自然公園(トンボ王国)の環境保全に役立てられます。

【運営団体】公益社団法人 トンボと自然を考える会



四万十市トンボ自然公園  
四万十川学遊館あきついお

☎0880-37-4110

〒787-0019 高知県四万十市具同8055-5

【受付時間】9:00-17:00

【休館日】月曜日

※祝祭日の場合はその翌日。春休み、GW、夏休み、年末年始は無休

ご購入はこちら

<https://gakuyukan.com/goods>



# 開運ビーズトンボ ～いいことありそう～

貴方は、どの『勝ち虫』に想いを込めますか？

## 7 祈 幸せ

【マルタンヤンマ】



日本一美しいヤンマ、マルタンヤンマの成熟オス。コバルトブルーに輝く大きな複眼は、見る者の心を捉えて離しません。めったに出合えない謎多き生態が愛好家の射幸心をさらに高め、その美しさをより増幅させているようです。幸せの青い鳥ならぬ「青いトンボ」。あなたも探してみませんか？

## 8 祈 ご長寿

【ムカシトンボ】



恐竜時代に栄えた、古代トンボの性質を留めた神秘的なトンボ。この仲間が見られるのは日本、中国～北朝鮮、ヒマラヤ地方の渓流で4種だけ。それら地域の自然環境が恐竜時代と変わらず清浄で優しく、ムカシトンボたちに大きなパワーとしなやかさを与え続けているからなのでしょう。

## 9 祈 健康(食の安全)

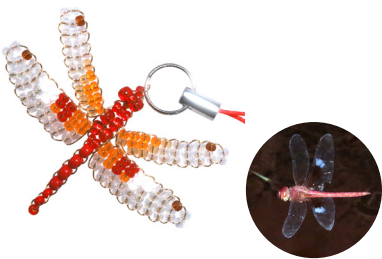
【ミヤマアカネ】



きれいな谷川の水を引き込む、真夏でも水温が低い山里の田んぼ。そんな田んぼで育つのが安全でおいしいお米と、北国生まれのミヤマアカネ。農家から直接お米を買う時、その田んぼでどんなトンボが育っているのか、ぜひ尋ねてみて下さい。真の健康は「食の安全」から、ですね。

## 10 祈 俊敏

【アメイトンボ】



南西諸島から東南アジアにかけ広く分布する熱帯性赤トンボ。台風等の南風に乗れり、しばしば生息域外の温帯域にも飛来します。トンボ王国ではコシアキトンボに交じって見られますが、生存競争の激しい水辺で進化してきたためか、オスの探雌パトロールや産卵飛翔は驚くほどの高速です。

## 11 祈 元気印

【ショウジョウトンボ】



夏の代表する赤トンボ。水草が生育する明るい池沼を好みますが、水田や緩い流れなど、様々な水辺で見られます。初夏から秋まで水面近くをエネルギーッシュに飛び回り、炎天下には逆立ち姿勢で暑さをしのぎます。少々の水質悪化も平気な、元気印のトンボです。

## 12 祈 旅の安全

【アキアカネ】



北国生まれのアキアカネは、真夏の蒸し暑さが大嫌い。初夏、平地の田んぼで生まれた若い成虫は、爽風を求め高山に旅立ち、秋の訪れと共に再び平地に戻ってきます。その間、野鳥など天敵の襲撃や嵐にも耐え、無事成熟して連結産卵する成虫たちには一種の風格すら感じられます。



### 勝ち虫

かの昔、第21代 雄略天皇は、お腕を刺したアブを捕らえたトンボに「勝ち虫」という称号を与えたというエピソードがあります。戦国時代では、勝利への願いを込め、好んで武具や衣装などにトンボの姿が描かれました。そして現代でも、鉛筆や学生服、農機具などに、トンボやヤンマを社名にする企業がある事はご存じのとおりです。このように、トンボには希望やロマンがあり、いつの時代も人々の思いを巡らせてきた存在なのです。

全12種類

各500円(税込)

「ピンタイプ」または「ストラップ」をお選びください。

※この収益は、四万十市トンボ自然公園(トンボ王国)の環境保全に役立てられます。

【運営団体】公益社団法人 トンボと自然を考える会



四万十市トンボ自然公園  
四万十川学遊館あきついお

☎0880-37-4110

〒787-0019 高知県四万十市具同8055-5

【受付時間】9:00-17:00

【休館日】月曜日

※祝祭日の場合はその翌日。春休み、GW、夏休み、年末年始は無休

ご購入はこちら

<https://gakuyukan.com/goods>

